

落果防止のための「青島温州」の有葉花摘葉処理法

[要約] 露地栽培「青島温州」の着果不良樹で、母枝が強く、着葉数 5枚以上の有葉花に対してのつぼみの時期の摘葉処理は落果防止効果がある。

長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	指導
----------------	----	----	----	-----	----	----

平成8年度長崎県果樹試験場業務報告

[背景・ねらい]

「青島温州」での着花不良樹の落果防止対策としての有葉花の摘葉処理の効果、果実品質や果実肥大に及ぼす影響について検討する。

[成果の内容・特徴]

- ①花の進捗と落果の関係を見ると、開花中の花がもっとも落果率が高かった。早く開花した花を摘葉すると落果率が高くなる。
- ②着葉数が4枚以下の有葉花(果)は、無摘葉の場合には落果率が低いですが、摘葉すると落果率は高くなる。
- ③母枝が弱いと落果率が高く、摘葉処理で落果率が助長される。摘葉処理で、母枝が強い有葉花ほど落果率が低くなる。
- ④5月下旬処理は、摘葉区、無処理区ともに高い落果率で、摘葉処理により、顕著な落果防止効果はない。
- ⑤摘葉処理により、糖度はやや高くなる傾向が見られ、酸含量も高くなる傾向が見られる。
- ⑥摘葉時期が遅い方が、全摘葉区の酸含量は低くなる。
- ⑦果実肥大は、全摘葉区がやや小さくなり、結果枝長は、無処理区の方が短くなる。

以上のことから、つぼみの段階の有葉花で、母枝が強く、着葉数5枚以上の有葉花に対しての摘葉処理は落果防止効果が高いが、その他の有葉花に対しては、顕著な落果防止効果はないと思われる。また、糖度はやや高くなるが、酸含量も高くなる傾向がみられた。

[成果の活用面・留意点]

着果を確保するため、例年の栽培管理を徹底する。

[具体的データ]

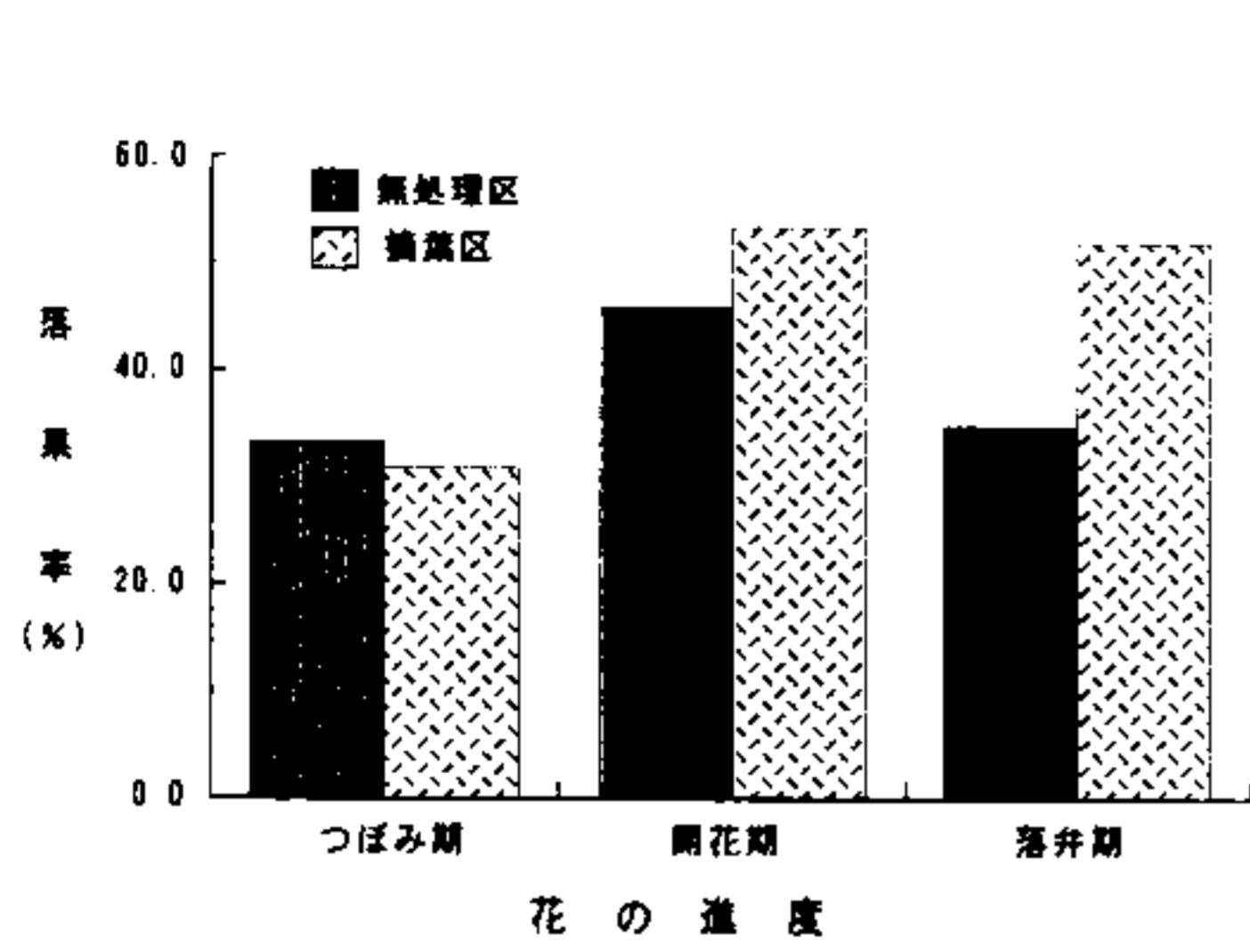


図1 花の進度と落果率

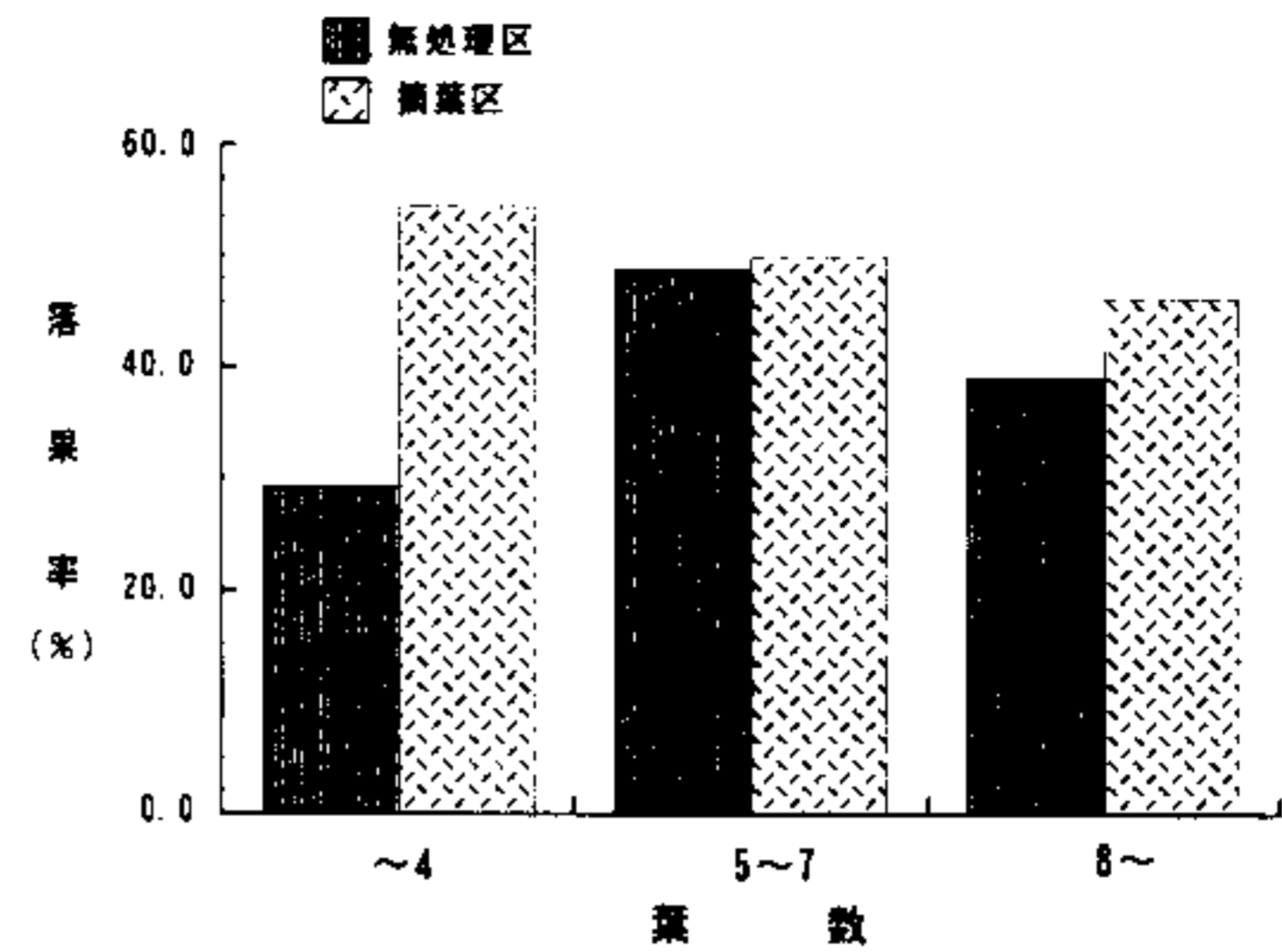


図2 葉数と落果率

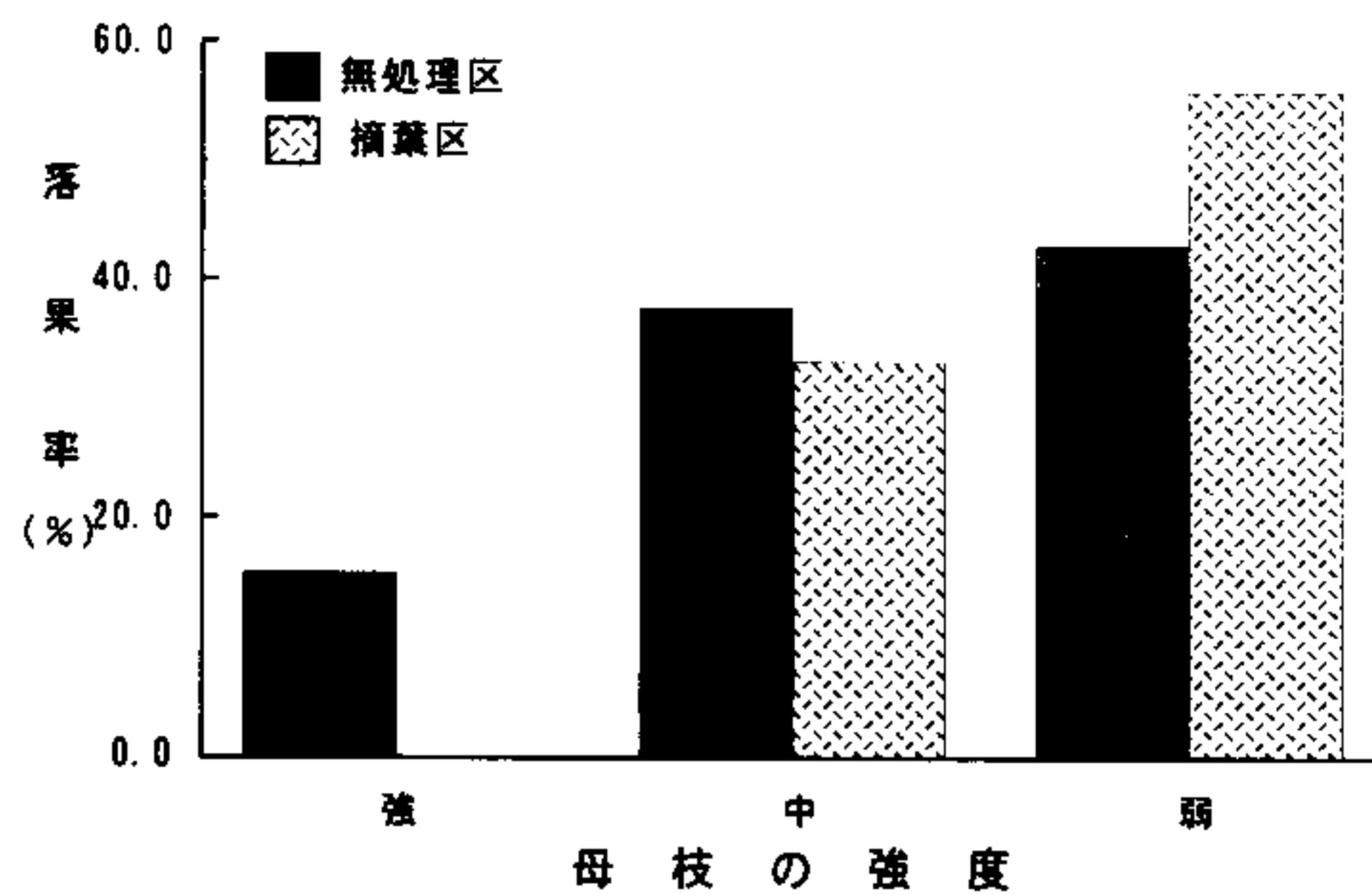


図3 母枝の強度と落果率

表1 摘葉処理と果実品質 (12月6日調査)

	糖 度	酸含量 (g/100ml)	着色歩合
5月摘葉区			
摘 葉 区	11.8	1.25	6.5
半分摘葉区	11.5	1.11	5.9
無 処 理 区	11.3	1.08	6.8
6月摘葉区			
摘 葉 区	11.7	1.02	7.6
半分摘葉区	11.2	1.02	6.2
無 処 理 区	11.5	0.96	7.4

[その他]

研究課題名 : 温州ミカンの高品質果実生産技術の確立試験
 予算区分 : 県 単
 研究期間 : 平成8年
 研究担当者 : 中里一郎
 発表論文など : 平成8年度長崎県果樹試験場業務報告